

# 西中だより

山崎西中学校  
通信部  
校訓

光る顔(徳育)  
光る目(知育)  
光る汗(体育)

## 市総体に向けて

教頭 西村 潤



六月一日より学校生活が再開し、全校生徒がそろっての生活ができるようになりました。今、山崎西中学校の校舎には、学校中明るい生徒たちの声が響き渡っています。

平素は、山崎西中学校の教育推進にご支援・ご協力いただいておりますこと心より厚くお礼申し上げます。

先日はPTA授業参観に続き、学年・学級懇談さらには部活動見学にも、多数のご参加誠にありがとうございました。参観いただいたとおり学校は、授業や諸活動に様々な制限がある中ですが、「学校の新しい生活様式」を実施しつつあります。大きな混乱もなく一ヶ月あまりを過ごすことができましたのは、生徒の皆さんをはじめ、各ご家庭における健康管理への意識の高さと協力のおかげだと思います。学校としては、地域や保護者の皆様とともに生徒たちが健康で安全な学校生活を送れるよう努力してまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

このようなか、部活動も再開し、三年生を中心にした生徒達の一生懸命活動している姿を見ますと、残り少なくなつたこのチームでの活動への熱い思いを感じずにはいられません。新型コロナウイルスの感染拡大防止の流れを受けて、三月より臨時休校になり、これまで当たり前だった部活動もできない日々が続きました。そこに、中体連主催の全ての大会をはじめ、各種コンクール等の中止の決定が伝

えられたことは、これまで最後の大会をめざしてがんばってきた、特に三年生の皆さんにとって、言葉に表せないほどのショックだったことと思います。

先日、部活動に対するある高校生の思いを書いた特集を目にしました。その生徒は、陸上競技部に所属し、競歩の選手として二年生の時には、県高校総体を制覇しました。今年も念願のインターハイ出場が懸かった勝負の年でしたが、新型コロナウイルスによる二ヶ月に及ぶ休校措置が緊張の糸を断ち切ってしまったのです。学校を離れると、練習の厳しさや重圧ばかりが思い浮かんで嫌気が募った状態の中、四月にインターハイ中止が発表されます。そこで監督に「引退したいか」と聞かれ、「はい」と答えます。当然安易に「はい」と答えたのではなく、相当悩んだと思います。その時に、中学時代から自室に貼っていた「インターハイ出場」と書いた紙もそつと捨てたそうです。引退の意向を聞いた監督は、ずっと頑張ってきたその生徒の姿を見てきました。が、あえて強く引き留めず、後悔させないような選択をさせるために「考えなさい」と時間を与えます。その後、学校が再開となり、仲間たちと顔を合わせているうちに気持ちがほぐれだし「この高校に入ったのは、陸上がしたかったから。自分で決めたことだ。タイムは悪くてもいい。本気で自分に勝ちにいかせて、やり

開かれた部活動にその姿を見せ、代替大会に挑む事を決めます。さらに同じ高校は、他にも仲間を支えられた選手も数多くいて、休校中に携帯電話で自分の練習メニューを紹介しあうなど、顔は見えないでも同じ時間を共有していることが励みだったとのこと。一日一日を大切にしたい。」この思いは、当たり前だった部活動の時間を過ごした皆さんにとっても同じではないでしょうか。

部活動の目的は「スポーツや文化・科学等に親しむ中で、責任感や連帯感、達成感など健全な心身の育成と体力の増強をはかること、そして何よりも社会性を学ぶこと」です。部活動では、「レギュラーに選ばれた」「試合や発表会で成果を出せた」「近畿大会や全国大会に出場できた」など一喜一憂する場面がたくさんあります。そしてその一つひとつが、皆さんを部活動に熱中させるモチベーションになってきたことでしょう。しかし私自身、今当時を思い返したとき、部活動を通して学んだことは、何よりも「世の中(社会)に出て通用する人として成長できた」ことだと思います。

部活動に取り組んできた過程において形は違っても、いろいろな苦しみやつらい経験もあったことでしょう。今回のコロナ禍もあり、もしかしたら、「最後の大会がこのような形で行われるなんて...」「なんで、自分たちばかり...」と感じてしまう人も多いかもしれません。しかし、いつまでもよくよ後ろばかり振り返り、不平不満ばかり言っているのも変わらないうこと、皆さんはきっと気づいていることではないでしょうか。

今後、皆さんは中学校卒業後も多くの人が進学し勉強を続けますが、いずれ社会に出てそれぞれの立場で活躍することとなります。そこでは、思うようにいかないこと、どうすればいいか迷ってしまうことなどがたくさん待ち受けていま

す。その時に、その状況をどう受け止め、どう考えられるか、あなたが判断していかなくてはなりません。そこに、部活動で得た多くの経験が生かされるはずで。今、皆さんは確かに厳しい現実に向き合っています。でも、だからこそ、しっかりその現実に向き合ってほしいと思います。その先には、これまでよりも一回りも二回りも大きくなった皆さんがいるはず。皆さんには無限といえるほど、たくさん可能性を秘めています。どんなことでも自分の決めた事に誇りを持ち、それぞれが自分の信じる道を切り開いてくれると信じています。

最後になりますが、来る七月二十三日、二十四日には、宍粟市総合体育大会が開催されます。今年度に限っては、お知らせしたとおり本大会が三年生にとって、勝敗に関係なく中学校での部活動の集大成となる大会になります。大会を運営するにあたり、地域や保護者の方々にお願いすることも多く出てきます。本大会に参加できることに感謝し、自分に打ち勝ち、チームの仲間とともに、やりきってほしいと思います。そして何より、目の前のプレーを全力で楽しんでほしいと心より願っています。保護者や地域の皆様、あたたかい応援をどうぞよろしく願います。

## 今後の予定



- 7月 23、24日 市中学校総合体育大会
- 28日、29日、30日、31日 テスト前朝練停止
- 31日、1日、2日 テスト前ノー部活
- 3日 給食最終日
- 4日 期末テスト
- 8月 3、5日 一学期終業式
- 7日 夏季休業
- 8、16日 学校施設閉鎖日
- (12、14日)
- 17日 二期始業式
- 19、21日 全校三者面談
- 24日 給食開始

# 3年生 部活動を通して

## 野球部

部活動を通して学んだこと、感じたことはたくさんあります。特に思うことは、仲間を大切にすること。そして感謝することです。苦しんだり、悩んだりしていると仲間が助けてくれる。そして、仲間が困っていたら何か手伝う。日々の生活の中でこのようなことはたくさんありました。毎日の一面、一場面からこれからの生活でも大切なことを学びました。三年生にとって最後の大会である市総体。これまで応援・支えてくださった方々への感謝を、一球を大切に、ひたむきなプレーで恩返しします。部活動の目標は県優勝、目的は人としての成長。これまでもとに頑張ってきた仲間と心を一つにして、目標と目的を達成します。応援よろしくお願いします。



## ソフトボール部

私はこの三年間、ソフトボールを通して感謝することの大切さをたくさん学びました。共にソフトをする仲間や教えてくださった先生方、そして私たちのために応援に来てくれる保護者の方はもちろん、対戦したチームなど本当にたくさんの方々に感謝しないとけないと実感しました。人は「ありがとう」の言葉で笑顔になれます。本当にすごい言葉だと思えます。だから応援してください。方や支えてくださる方に最後の大会では感謝の気持ちを含めた全力プレーをして全員が笑顔で終われるようにしたいです。笑顔で終わるために、練習できるように感謝して、本当に残り少ない日々を大切に頑張ります。

## サッカー部

僕たちがサッカー部に入学してから、あつという間に三年間が経ちました。部活動では、仲間の大切さや、感謝の気持ちを持つことの大切さを学びました。初めは、うまくプレーできず、悔しい日々が続きました。ですが、毎日の練習で出来ることが増えていき、サッカーをすることが楽しくなりました。僕は、キャプテンとして活動する中で、不安になることや苦労したことがたくさんありました。しかし、支えてくれる仲間や先生方、いつも

応援し、励ましてくれる家族のおかげでチームを引っ張っていくことができました。このメンバーでサッカーができるのもあと少しです。このメンバーとしたサッカーはとても楽しかったです。だから、最後の大会は三年間の頑張りをすべて出し切り、感謝の気持ちを忘れず、笑顔で終わりたいと思います。

## 女子バレー部

三年間の私たちの部活動を振り返ってみて、当初はついていくことに必死で自分のことだけで一杯の毎日でした。とにかくバレーが大好きな私たちが「明日も頑張ろう」と励まし合った一年目でした。後輩ができ、先輩になった二年目は、自分たちが中心になり、常に目標をもって努力し続けることで、勝つ喜びを知り、県大会に二回も出場できました。毎日の厳しい練習の中で自分に負けない心をもつことと仲間と心を合わせないと勝てないということを感じました。三年生となった今では三年間の集大成として残りわずかな時間を大切にしています。最後の大会では最高の試合ができるよう、私たちのプレースタイルである粘り強いバレーで勝利します。

## 男子剣道部

僕はこの部活動を通して学んだことは「感謝」です。僕が大切にしている言葉に「森羅万象之皆師也」という言葉があります。この言葉の意味は「この世のすべてのものが師である」という意味です。だから、先生に感謝、保護者に感謝、チームメイトに感謝、相手に感謝しながら練習に励んできました。僕が見てきた先輩方や先生たちは、この言葉を重んじて剣道をしています。その姿を見て「このようになりたい」と思いました。小学生の時は先生の話を聞いて、試合に勝てばいいと思っていました。しかし、中学校に入ってから先輩方の背中を見てみると「ああ、勝つだけがすべてではないんだな」と思いました。だからこの二年半、この言葉を大切に生きていきたいと思っています。



## 女子剣道部

私は部活動を通していろいろなことを学びました。中一の五月から部活動を始め、まず最初に学んだことは「礼儀」です。剣道は努力と集中力、決断力のほかに、相手を敬い、礼儀を重んじる教えがあります。このような教えを先輩方は大事にされてお

り、その先輩方の姿を見て私も礼儀は大切だと思えるようになりました。剣道には「勝つたら反省、負けたら感謝」という言葉があります。この言葉は試合に負けてしまおうと、悔しさをいっぺいになりませんが、負けたことで何が自分に足りないのかを振り返り、そうすることがさらに自分を成長させてくれることに感謝しようという意味です。私はこの言葉を大切に二年半頑張ってきました。礼儀はこれから先も大切だと思うので大切にしていきたいと思っています。

## 男子卓球部

僕たちは二年半男子卓球部として部活動に励んできました。部活動を通して、礼儀やマナー、試合をして、たくさんの人との交流から数多くの体験をしました。また、他学年との交流やチームとしての集団意識を高めることができました。そして仲間との絆を深めることができました。また、部員全員の個性が強くてまとめることはとても難しかったけれど大会当日や大会前はチーム一丸となつてそれぞれの力が発揮できました。僕たちは部活動を通して、たくさんを経験をし、たくさん学ぶことができました。これらを次の夏季総体で発揮し、後悔のない試合をしてきます。



## 女子卓球部

卓球は一つのミスが勝敗を大きく左右します。だから、瞬時の判断力と日頃からの努力の積み重ねがとても重要となります。私は卓球を通して、一つ一つのことに正面から向き合うことの大切さを学びました。また、卓球は技術面だけで勝てる競技ではありません。自信のある時は自分の思い通りのプレーができますが、自信のない時は思い通りのプレーをすることはできません。私は相手に負けている時こそ、自分やチームの本当の実力を発揮できると思います。これから先、たくさんの方々が、部活動を通して学んだ諦めない粘り強さと、こそという時の勇気で乗り切っていきたいです。

## 吹奏楽部

私はこの三年間、吹奏楽部で本当にたくさんの方々と学び、かけがえのない時間を過ごすことができました。先輩、先生に対しての礼儀や仲間の大

切さ、一つの音楽を創り上げることの難しさなど、どれも部活に入っていないだけでは学べなかったと思います。私は今、部長という大きな役割をさせて頂いています。部内でみんなの考えがバラバラだったり、挨拶がうまくなかったりして大変な時もあるけれど、そんな時みんなが輪を作ってどうすれば一番良いのか話し合ったり、みんなが「楽しい」と思えるようにしていきたいです。最後にする演奏はいつになるか分からないけれど、今までで一番良い演奏ができるように頑張りたいです。

## 美術部

美術とは、僕は一人でするものだと思います。いくら他人と話をしても、描くときは一人なので、自分の力や努力が一番だと思っています。みなさんの部活はどうでしょうか。おそらく協力をして取り組んでいると思います。美術部にも他の部活と同じように協力する場面があります。共同制作です。これをする中で、みんなと協力をします。僕は一人でする方が好きですが、協力するのも楽しいです。そんないろいろな楽しみ方ができるのが美術部の良いところだと思います。ぼくは三年間を通して美術部で学ぶことや考えること、辛いことも多くありましたが、良い部活だったと思います。



## 水泳部

僕たち水泳部は、この三年間を振り返ってみると、三年生は二人しかいなくて、しんどいことが多かったと思います。しかし、それ以上に学べたことがあります。それは、毎日プールまでの送迎で感謝の気持ちを改めて感じたこと、いろいろな人から教わった挨拶や礼儀などです。それらの学んだことを忘れずに将来に活かしていきたいです。また、しんどくて逃げ出したくなる時もあったけれど、同じ部活のメンバーや他校の選手とともに切磋琢磨して頑張ってきた、乗り越えてきました。これからは、乗り越えてきました。これからは、気を引き締めて、残りの大会も悔いのないように頑張ります。三年間、僕たちを支え続けてくれた先生方、お母さん、お父さん、地域の方々本当にありがとうございました。

